GitHub ワークショップ チーム開発編の事前準備

Hack U Project



事前準備もくじ

- 1. チームで使うリポジトリの作成
- 2. メンバーをアサインする
- 3. 演習ファイルをpushする
- 4. 全員がリポジトリをcloneする

2

事前準備 1

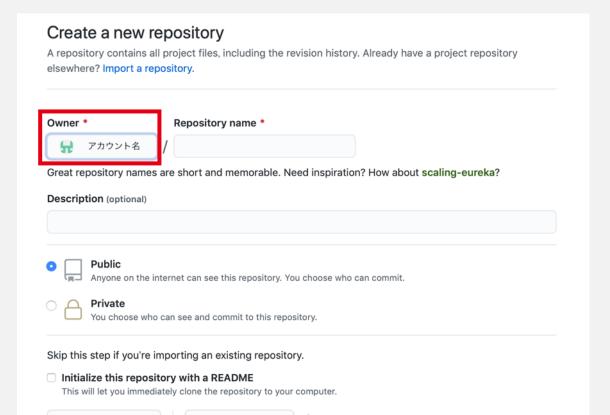
チームで使うリポジトリの作成



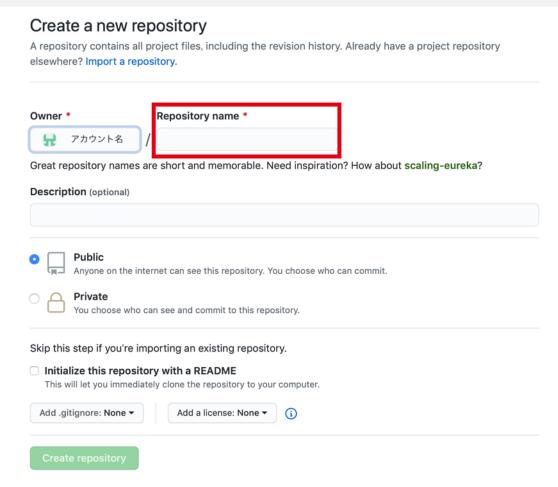
- ワークショップでつかうためのリポジトリを<u>1つ</u>のチームにつき1つ用意します。
- このリポジトリはワークショップ後、実際の開発 に使ってもらっても構いません。
- リポジトリ作成は<u>チームの中の1人</u>が代表となって 作ってください。

- https://github.com/アカウント名 にアクセス
- Repositories から Newをクリック

Owner には リポジトリを作る担当の アカウント名が入る



Repository nameを決める



「github_team_ws」

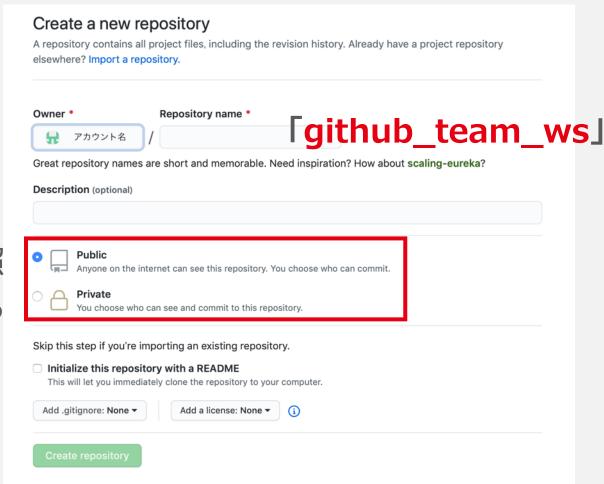
というリポジトリ名で 作りましょう。

このリポジトリを 後の開発にも使いたい場合、 <u>別のリポジトリ名</u>にしても構いません

以降のスライド画像では<u>「github_ws」</u>となっている場合がありますが、 適宜読み替えてください

Create repositoryをクリック

リポジトリを誰でも参照 可能にするかを設定する (今回は **public**)

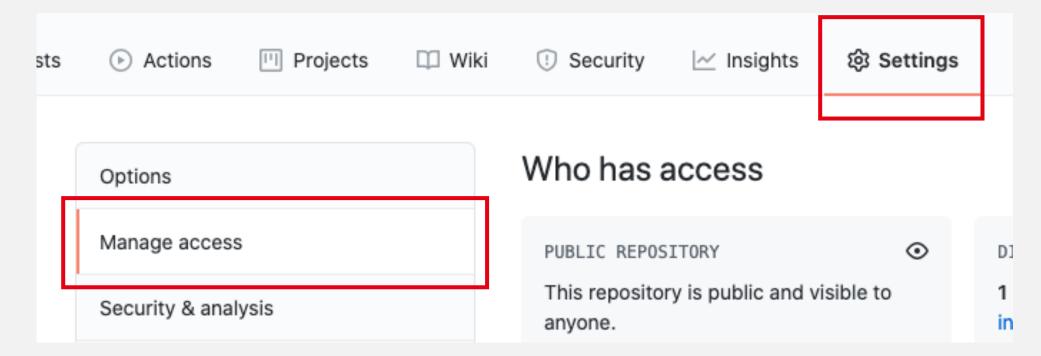


事前準備 2 メンバーをアサインする



メンバーをアサインする

リポジトリのSettingsからManage accessを開く



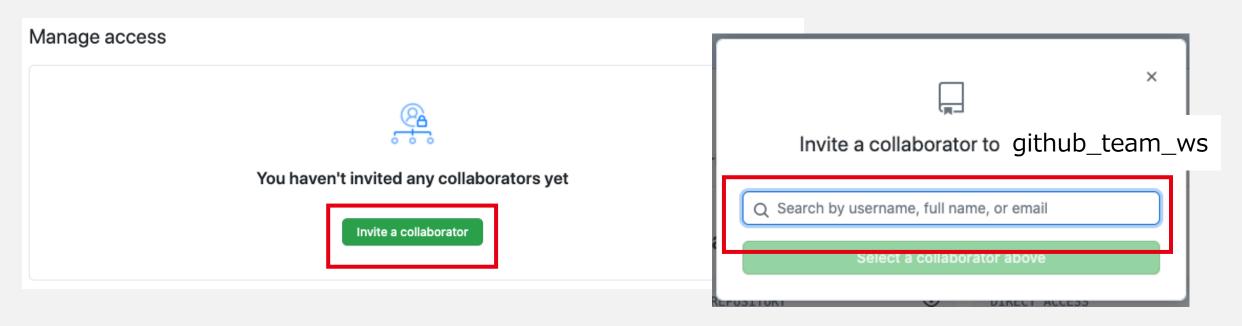
9

チームの1人が作業メンバーをアサインする

Invite a collaborator をクリックし

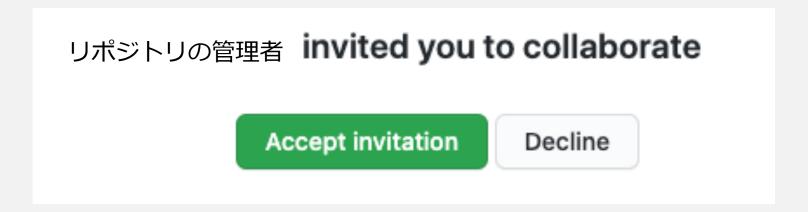
メンバーのアカウント名を入力し、決定する

これを自分以外のメンバー全員分行う



メンバーをアサインする

他のメンバーはリポジトリのCollaboratorへの招待メールがGitHub登録のメールアドレスに届くので、そのリンクから承認する。



事前準備3 演習ファイルをpushする



演習ファイルをpushする

- ワークショップ内で使用する演習ファイルを先ほど作成したリポジトリにpushします
- 先ほどの準備でメンバーアサインが完了しているので、 チームメンバーのどなたでもpushできる状態です
- <u>メンバーの1人</u>が作業を行ってください
- 資料ではGit CUIで説明しますがGUI等で行ってもらってもかまいません。

13

一旦cloneする

- 適当なディレクトリに移動して、
- 「git clone https://github.com/ユーザー名 /github_teams_ws.git」

```
●●●
~ $ git clone https://github.com/ユーザー名/github_ws.git
```

• 「git」や「workspace」などのディレクトリ下に cloneするとリポジトリが管理しやすいです

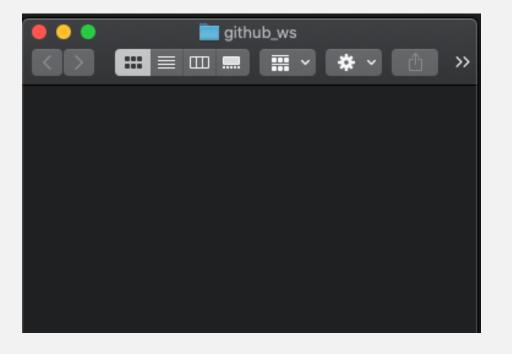
チームの1人が作業 ローカルリポジトリの確認

• Finderでcloneしてきたディレクトリを開き、空の ディレクトリができていることを確認 (エディターなどを使っている場合はそれで確認)

してもOKです)

 Topen github_ws Finderで開くコマンド





演習ファイルの準備

- GitHub の Search or jump to … から「hackujp/github_tutorial」を検索
- リポジトリ内の ver_Team/team_hands-on.zip を 開く
 - Download ボタンよりダウンロード

team_hands-on.zip を解凍

演習ファイルの準備

- 先程開いたローカルリポジトリに展開したファイルを移動させる
- 移動させる対象は以下の通り
 - index.html
 - src (中身ごと)



「git status」で追加した演習ファイルが表示されていることを確認してください。

```
~/github/github_ws $ git status
On branch master
Your branch is up to date with 'origin/master'.

Untracked files:
    (use "git add <file>..." to include in what will be committed)

    index.html
    src/

nothing added to commit but untracked files present (use "git add" to track)
```

「git add .」(最後にピリオドが必要です)で addされます。「git status」でnew fileとして表 示されることを確認してください

```
[~/github/github_ws $ git add .
[~/github/github_ws $ git status
On branch master
Your branch is up to date with 'origin/master'.

Changes to be committed:
   (use "git reset HEAD <file>..." to unstage)

   new file: index.html
   new file: src/index.js
   new file: src/styles.css
```

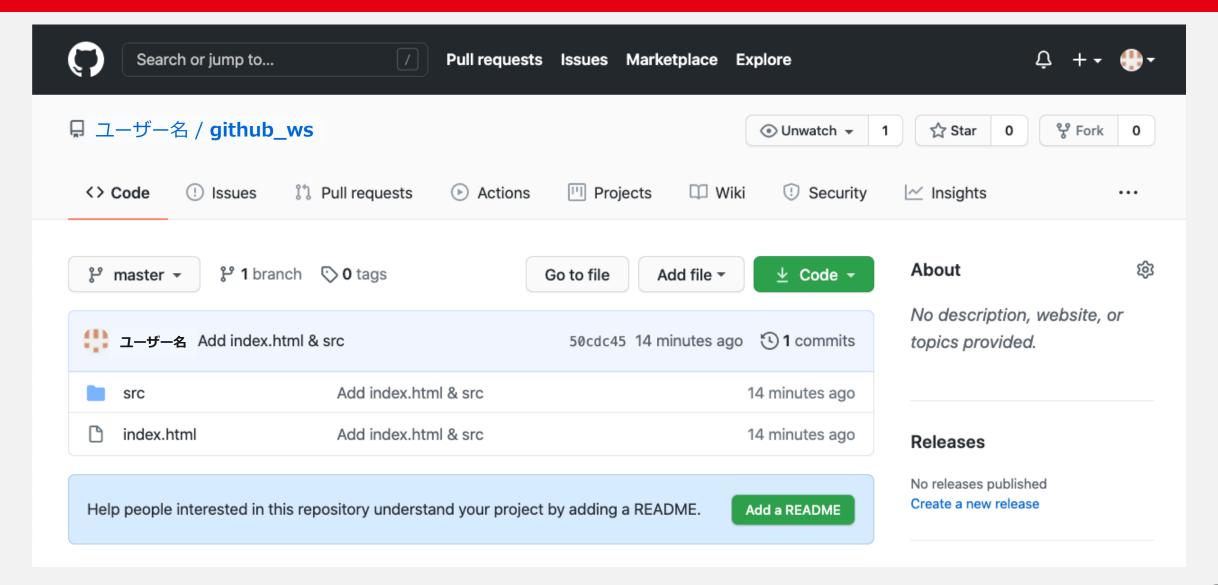
- 「git commit -m "<任意のメッセージ>"」
- でコミットされます。
- 3つのファイルが表示されることを確認してください。

```
[~/github/github_ws $ git commit -m "first commit"
[master d55fbdf] first commit
  3 files changed, 50 insertions(+)
  create mode 100644 index.html
  create mode 100644 src/index.js
  create mode 100644 src/styles.css
```

- 「git push origin master」でpushします (ブランチがmainの場合はmaster -> main。 commit時の表示を確認してください)
- GitHubのユーザー名とパスワードを入力する必要があります。

~/github/github_ws \$ git push origin master

GitHub に反映されているか確認



事前準備 4

全員がリポジトリをcloneする



ローカルにcloneする

- 先ほどチームの代表でpushしたメンバー以外のメンバーは各自それぞれのローカルにcloneしておきましょう。
- この準備作業によって、チーム全員がローカルに main/masterブランチの同じ内容のリポジトリを cloneできている状態になるはずです。

24

ローカルにcloneする

- 適当なディレクトリに移動して、
- 「git clone https://github.com/ユーザー名
 /github_teams_ws.git」

```
●●●
~ $ git clone https://github.com/ユーザー名/github_ws.git
```

• 「git」や「workspace」などのディレクトリ下に cloneするとリポジトリが管理しやすいです

事前準備は以上となります お疲れさまでした

